



人間による破壊は

近年の急激な地球環境の変化等により、大きな危機に瀕しています。加えて、沖縄の島々では、赤土等の流出による海の汚染や海岸の埋め立てなどによるサンゴ礁の消滅など、人によるサンゴ礁の破壊が問題になっています。

防げます

◆赤土流出は人間の責任です

沖縄の島々では、赤土とよばれる赤茶色の土(国頭マーン)等が強い雨が降るたびに大量に海に流れ込むことが、広く知られています。このような土壌の流出は沿岸海域のサンゴ礁を中心とする生態系を破壊し、水産業や観光産業にも悪影響を及ぼしています。この地域で特有の土壌、地形、気候など自然的な要因だけで、このような大量の土壌が流出するのではなく、開発地や畑地等で陸が裸地状態にあ

るなどの人為的要因が加わることで、大きな問題となるのです。沖縄県では、本土復帰後に農業基盤整備事業や道路・ダム等の建設事業が実施され、赤土等の流出が急増したことを受け、1995年10月に県赤土等防止条例が施行されました。この条例施行により、開発地からの流出量は大幅に減少しつつありますが、農地からの流出量は横ばいのままで、未だに集中豪雨のたび赤土等の流出が各地で見られるのです。

◆サンゴ礁を守る知恵と工夫を

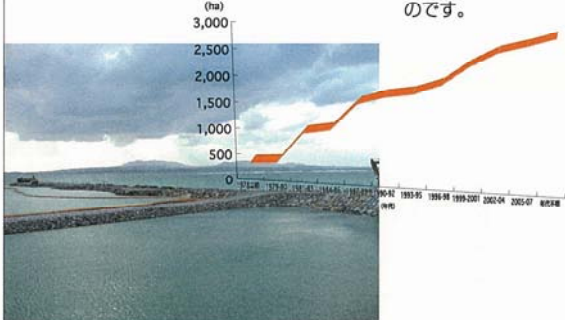
サンゴ礁を危機に陥れている人為的要因の中でも、サンゴ礁域の埋立などは、広い範囲のサンゴ礁を直接消滅させるだけにとても深刻です。これまでの開発は、沖縄に住む人々の安全で便利な暮らしのために行われてきた側面があります。多くの生き物にとってもかけがえないサンゴ礁を守りつつ、快適に暮らしていくための知恵と工夫が私たちに求められているのです。



赤土堆積の調査方法

沖縄県衛生環境研究所では、沖縄の海域の赤土汚染を簡便な機材と簡単な操作で測定・評価する標準的手法のSPSS簡易測定法を開発しました。測定値は9段階で評価され(ランク1~8、ランク5は5aと5bに細分され全9段階に区分される)、ランク5bからランク10に悪影響が出るとされています。

(参考URL:www.eikankenokinawa.jp/suieka/akatuti/akahp/spss.htm)



沖縄のサンゴ礁は埋め立て地を提供してきたとも言えます。これまでに与那国島と同じか渡嘉敷島の2倍の、およそ30km²が埋め立てられました。左のグラフはサンゴ礁消滅面積・積算埋立面積の推移を示しています。(参考:1992年まで「日本の干潟、潟場、サンゴ礁の現状-第三卷サンゴ礁-、環境庁」中の表9サンゴ礁消滅年代別面積、1993年から「www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2008/0131/0131.html」中の資料4平成元年~平成19年の沖縄県面積値の推移)

街から海へ、川を経て流れ出る汚れが、透さとおった海を濁らせます。これも見過ごせないサンゴ礁への脅威です。右の写真で、街から流れ出た汚れが、海を白く染め分けているのがわかるでしょうか。

